

## 授業特別協力者(ゲストスピーカー)報告書

---

**テーマ** : 日本経済新聞読み方講座  
**授業特別協力者名** : 山野 茂樹 氏  
**実施日時** : 2021年5月10日(月)2時限  
**担当教員名** : 伊藤 恵子  
**授業科目名** : ベーシック演習  
**実施場所** : オンライン教室  
**履修者数** : 9名

### 実施結果

日本経済新聞社・販売ユニット・マーケット営業部の山野茂樹氏をゲストスピーカーにお招きし、日本経済新聞の特徴や紙面構成、さまざまな目的に応じた「読み方」などを説明していただいた。

日本経済新聞の記事の特徴は、世の中のトピックを「ビジネスの視点」から捉えて分析していることであり、こうした記事を読むことによって、社会の動きと「関心ある業界」との関係についての理解が深まる。

新聞構成は、まず1面では多くの人が関心を持つマクロ的な記事から始まり、政治や経済に関する総合的な記事、国際的なニュース、さらに個々の企業に関するミクロ的な記事へと続く。1面と総合面記事を読んで旬のトピックの大きな流れをつかむという読み方もあれば、関連記事やニュースの背景、読み物記事などまでをじっくりと読み、最新ニュースの背景や真相についてより深い情報を得るといった読み方もある。個々の企業のニュース記事には、当該企業の関連する業界全体やライバル他社の動向についても触れられているケースが多く、「個々の企業の記事から業界の動向を読む」ことも日経新聞の読み方のポイントの一つであることも教えていただいた。

そして、日経新聞を読む上で知っておくとよい専門的な経済用語(景気動向指数など)や損益計算書の用語についても簡単に解説していただき、いくつかの専門用語を知れば、日経新聞をより簡単に理解できるようになり、読みやすくなっていくことも示していただいた。

また、日経電子版の機能や利用方法、毎日の日経記事を音声で聴けるアプリなどもご紹介いただき、紙面とネットでの情報収集・活用術について教えていただいた。

今後、大学における経済・経営系の授業での学修が進むにつれて、日経新聞の記事もより読みやすくなっていくであろうし、新聞記事やその背景への理解も深まっていくであろう。今回の講座を通して、新聞が何をどのように読者に伝えようとしているかを知り、大学1年生からビジネスの「今」「これから」について多少なりとも関心を持ってもらえたのではないかと思われる。また、経済・経営系学部の学生として、これから授業で学ぶことと関連づけながら、ニュースの背景や分析記事、論説などを読むことができるようになると、より知識も深まり、かつ分析力や思考力を養うことができることも学んだ。これからの大学での学びに対する動機付けにもなる講座であった。